

にちよう 学芸館



「真山おろし」の舞せ場の一つ、「持ち打ち」の場面



「墓送り打ち」に打ち込む部員4人=2月8日、男鹿市の男鹿海洋高校



O.Bの古仲栄文さん

「DRUM TAO」のメンバー当時の古仲さん=2020年、米国（本人提供）

世界の舞台経験

地元のと太鼓ユニット「音打組」メンバーの古仲栄文さん(30)=男鹿市=は、郷土芸能部O.Bの一入。大分県竹田市を拠点に国内外で活躍する和太鼓集団「DRUM TAO（ドラム・タオ）」に2017年4月から20年8月まで

後輩へ「今を楽しんで」

所属した。ドイツや米国など国内外を回り、18年のNHK紅白歌合戦では水川きよまと共演するなど、さまざまな舞台を経験した。古仲さんの在籍期間、体力づくりのため、縦笛メニューにランニングがあったという。「プライベートが、み

んな自分たちでやってくると満足度高めよとしていた」と振り返る。金華高校総合文化祭には2回出演。太鼓を演舞する全国の高校生が集うイベントでは、各校のレベルの高さに魅了され、練習への熱意が高まった。3年生最後の大会で入賞し、後輩たちに後継の台座大会の出場権を獲せたのが思い出だ。

現在は月5回程度、県内外のイベントに出演。個人で樹立したり、子ども向けに和太鼓ワークショップを開いたりしている。部員たちの活躍にも期待する。「秋田は人口減少と過疎化が進んでいるが、太鼓のパフォーマンスには多くの人が集まり盛り上がり続けている。今しかない青春を楽しんで」



たいへん、嬉しいですね。この機会に、秋田県内の高校生に、太鼓の魅力を伝えたい。秋田県内の高校生は、太鼓の魅力を伝えるために、様々な活動を行っています。秋田県内の高校生は、太鼓の魅力を伝えるために、様々な活動を行っています。秋田県内の高校生は、太鼓の魅力を伝えるために、様々な活動を行っています。

男鹿海洋高郷土芸能部

伝統継ぐなまはげ太鼓



り太鼓を文楽や打巻け打で、白田町民会館のホールで、演舞大会を開催する。秋田県内の高校生は、太鼓の魅力を伝えるために、様々な活動を行っています。秋田県内の高校生は、太鼓の魅力を伝えるために、様々な活動を行っています。

たかノワのメンバーは、秋田県内の高校生に、太鼓の魅力を伝えるために、様々な活動を行っています。秋田県内の高校生は、太鼓の魅力を伝えるために、様々な活動を行っています。秋田県内の高校生は、太鼓の魅力を伝えるために、様々な活動を行っています。

拍手がうれしい



◆部員から一言

©秋田魁新報社

▼秋田県立男鹿海洋高等学校
▼男鹿市立豊後中学校
▼男鹿市立豊後小学校
▼男鹿市立豊後幼稚園